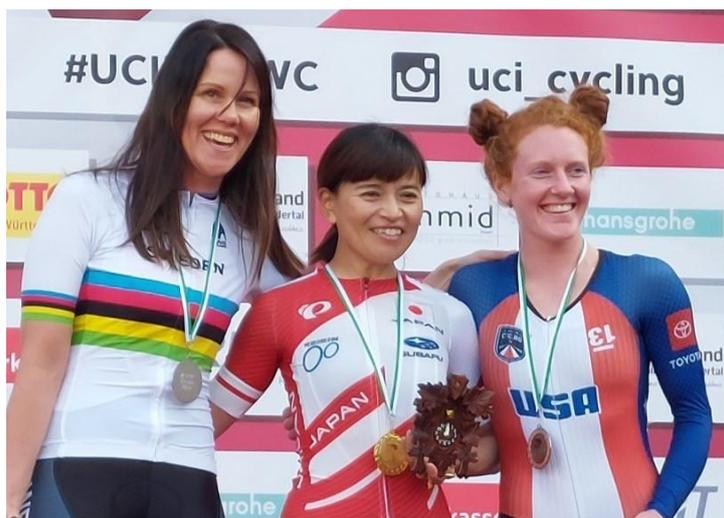


2022年5月17日

UCI パラサイクリング ロードワールドカップ第2戦 WC3 (女子 C クラス)タイムトライアルとロードレースにて ブリヂストンサイクル機材サポート選手 杉浦佳子選手が2冠達成

2022年5月12日(木)～5月15日(日)ドイツ・エルツァッハで開催された、UCI パラサイクリング ロードワールドカップ「WC3 (女子 C クラス) タイムトライアル 18 km」と「WC3 (女子 C クラス) ロードレース 44.4 km」にてブリヂストンサイクル機材サポート選手 杉浦佳子選手が優勝し、見事2冠を達成しました。

なお、杉浦選手は前週の UCI パラサイクリング ロードワールドカップ第1戦 (ベルギー) 「WC3 (女子 C クラス) ロードレース 60.8 km 」に続いての優勝です。



杉浦選手 (中央) 写真提供: JPCF

■レース展開

～WC(女子 C クラス)タイムトライアル 18km～

序盤は平坦で後半は登坂になる 18km のコース。杉浦選手は世界チャンピオンの BECK ANNA 選手の 1 分後にスタート。スタート直後より果敢に攻めて、登坂区間の残り 2km で BECK ANNA 選手を視界にとらえてフィニッシュし金メダルを獲得しました。

～WC(女子 C クラス)ロードレース 44.4km～

石畳とコーナーの多い市街地区間を抜けて緩斜面の直線 2km を往復する 7.4km を 6 周、44.4km のコース。杉浦選手は USA チーム等ライバルチームからマークされる展開であったが、ゴール手前の最終コーナーでトップに立ち、残り 250m のスプリントで逃げ切り金メダルを獲得しました。



タイムトライアル スタートする杉浦選手

写真提供：JPCF



ロードレース中の杉浦選手（中央）

写真提供：JPCF

■杉浦選手コメント

タイムトライアルにて当初は登坂があるためロードバイクでの出走も考えましたが、前半の平坦区間のタイムを考慮しタイムトライアルバイクを選択しました。最後までパワーを出し切ることができて、順位はもちろん目標としていた45分を切ることもでき、満足な結果でした。

また、ロードレースではライバル選手からのマークが厳しかったですが、市街地区間では体力を温存することができ、最後のスプリントで最大パワーを発揮することができました。

今後も TEAM BRIDGESTONE Cycling の活躍にご注目ください。

※チームブリヂストンサイクリングの活動詳細はこちら (<https://www.bscycle.co.jp/anchor/blog/Team-Blog/>)
をご覧ください。

大会概要

大会名 UCI パラサイクリング ロードワールドカップ 第2戦

開催場所 ドイツ・エルツァッハ

開催日 2022年5月12日(木)～5月15日(日)

以上

本件に関するお問い合わせ先

< 報道関係 > 広報担当 原島 sae.harajima@bridgestone.com

下山 tomoyuki.shimoyama@bridgestone.com

< お客様 > お客様相談室 TEL：0120-72-1911